

特別支援教育を担う教員のニーズに応えるために ～特別支援学級の授業づくりに関する研究から活用まで～



広島県立教育センター
特別支援教育・教育相談部
指導主事 廣藤 香織

研究の背景

広島県の特別支援学級に在籍する児童生徒数
(校種別)

校種	平成23年度	令和3年度	
小学校	2,806人	6,631人	2.4倍
中学校	1,026人	1,994人	1.9倍

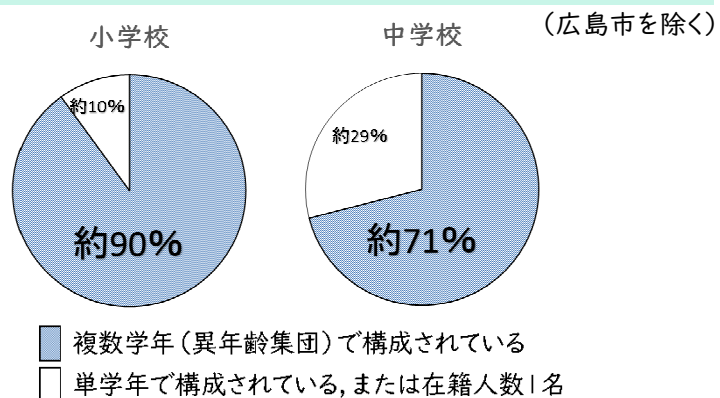
広島県の小学校特別支援学級に在籍する児童数
(障害種別)

障害種別	平成23年度	令和3年度	
知的障害	1,305人	2,235人	1.7倍
自閉症・ 情緒障害	1,370人	4,279人	3.1倍
肢体不自由	48人	31人	

参考:広島県教育委員会(平成23年・令和3年):特別支援教育資料

研究の背景

広島県における自閉症・情緒障害特別支援学級の編成



研究の背景

自閉症・情緒障害特別支援学級における
異年齢集団での授業づくり
に不安を感じている教師が、指導の見通しをもって授業を実践
できるようになるための授業づくりのヒントを
提言すること

研究の方法及び内容	
期間	令和4年4月～ 令和5年3月
研究 指導者	山口大学 柳澤亜希子先生
共同 研究者	教育委員会 義務教育指導課 2名
方法	・文献研究 ・授業参観

**障害の特性に応じた
異年齢集団における
授業づくりのヒント**

↓

授業モデルの作成

↓

パンフレットにまとめる

パンフレットの構成

**異年齢集団での授業づくりで
大切にしたいことの整理**

- ・障害の特性 (P.3~4)
- ・障害特性に応じた
学習環境の整備 (P.5~6)
- ・異年齢集団における
授業づくりのヒント (P.9~10)

教科等での指導例

- ・算数科 (P.11~12)
- ・自立活動 (P.13~14)

自閉症・情緒障害特別支援学級を担う先生のための
異年齢集団における授業づくりのヒント

今年度、新たに受け持つ自閉症・情緒障害特別支援学級は、
二つの学年の児童が在籍している異年齢集団に……。
数年前に、自閉症・情緒障害特別支援学級の担任をしたこと
があるけど、そのときは、同一学年の児童だけだったから不
安定な……。
複数の学年の児童が在籍する中で、どうやって指導すればいい
のかな

小学館自閉症・情緒障害
特別支援学級担任の
先生

ラン学級

自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍児童

第3学年 男性 A
(自閉症・AD/HD)

第3学年 男性 B
(自閉症)

第3学年 女性 C
(通称性かたまり)

第5学年 女性 D
(自閉症)

同一学級内に、複数の学年の児童が在籍している「異年齢集団」
に対して、どのように授業づくりをしていけばいいか、小学校の
場合を例にして、一緒に考えていきましょう！

令和5年3月
広島県立教育センター

研究成果の活用
(1) HP掲載、専門講座
(2) 動画の配信 (オンデマンド研修動画)
(3) 学校(団体)サポート支援事業
(4) 県教育委員会主催の研修

成果と課題
成果
・ 研究の成果を広める機会が多く、より多くの 先生方の授業づくりに寄与した。
課題
・ 今後、特別支援教育を担う教員のニーズに 応える研究をしていく上で、どのような工夫が できるのかを検討していく。